

KOBE SUMA SEA WORLD

神戸須磨シーワールド

神戸須磨シーワールド 完成 6月1日オープン

株式会社サンケイビル 取締役常務執行役員 事業本部社長特命担当 松本 肇



神戸市民のシビックプライド高める

神戸市須磨区の須磨海浜公園内に新たな水族館「神戸須磨シーワールド」が6月1日にオープン致します。「スマスイ」として神戸市民に愛され、2023年5月末に惜しまれながら閉館した須磨海浜水族園の跡地に再整備したものです。旧水族園からの引き継ぎを中心に522種、約1万7000点の生物を展示し、西日本で唯一シャチ(オルカ)による大迫力のパフォーマンスが楽しめるのが最大の特徴となります。整備は同公園を管理する神戸市様がPark-PFI制度を導入し、当社を代表企業とする「神戸須磨Parks+Resorts共同企業体」が担当させて頂きました。2021年から公園内の再整備を進め、今回の新水族館と隣接のホテル「神戸須磨シーワールドホテル」の完成により、すべての整備が完了致します。新水族館は環境対策にも力を入れ、国内初となる「CASBEE-街区(2023)年版Sランク」など6つの環境認証などを取得しています。訪日外国人を含め多くの方々に来て頂き、神戸市民の方々「シビックプライド(地域への誇り)」が高まるような施設にしていきたいとともに、ほかでは味わえない「非日常」が体感できるようにして参る所存です。

神戸市のPark-PFIで選定された「神戸須磨Parks&Resorts共同企業体(代表企業・サンケイビル、構成企業・三菱倉庫、J R西日本不動産開発、竹中工務店、阪神電気鉄道、芙蓉総合リース、グランビスタホテル&リゾートの6社)」が、神戸市須磨区の須磨海浜公園内で整備を進めていた「神戸須磨シーワールド」が完成し、6月1日にオープンする。西日本で唯一、シャチの大迫力を観察できる水族館で、観客席下の1階レストランでは、窓越しにシャチを眺めながら食事でもできる。環境対策にも取り組み、国内初となる「CASBEE-街区(2023)年版Sランク」など六つの環境認証などを取得している。設計・施工は竹中工務店が担当した。

神戸市経済観光局 観光企画課

係長 中川 和樹

須磨の水族館の歴史は、1957年に初代の須磨水族館が開業したことに始まります。87年に老朽化への対応や魅力アップの必要性から、須磨海浜水族園にリニューアルしました。長年「スマスイ」の愛称で親しまれてきましたが、30年が経過し同じく老朽化などの課題が顕在化していました。そこで須磨海浜公園と水族園の一体的な再整備でエリア全体の魅力を高めようと、民間ノウハウを最大限活用できるPark-PFIを事業手法に採用しました。事業者公募では「何度も訪れたい」「神戸観光の核となる施設」「驚き・学びの提供」などを水族館の基本方針に設定しました。事業者提案によって西日本唯一となるシャチの展示が実現し、独創的で魅力ある水族館に生まれ変わりました。昨年に先行オープンした西側敷地では多世代向けに遊具を充実し、新設の飲食店舗にもぎわいを見せています。グランドオープン後は神戸市西部を代表する観光拠点として、事業者グループの運営に期待しています。

Park-PFIで民間ノウハウ活用



設計・施工/竹中工務店

六つの環境認証取得の水族館



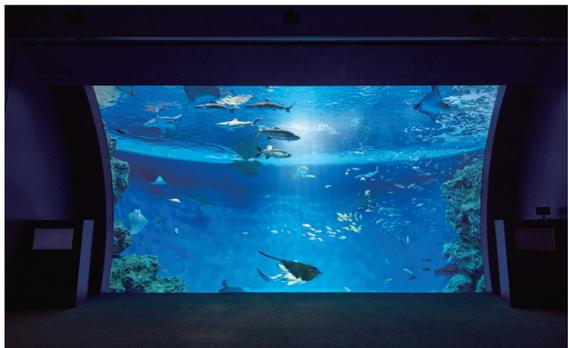
水の一生をテーマにしたローカルライフ



オルカスタジアム内レストラン



ドルフィンスタジアム



水量670tの大水槽で外洋を再現



珊瑚礁の自然環境を再現したトロピカルライフ

施工のポイント

取水管敷設の新工法を技術開発

必要な海水はイルカ棟沖合から取水。取水管を構築する鉄筋コンクリート管を推進工法によって敷設、掘削機の到達立坑を陸上であらかじめ組み立てる技術開発も行った。浜口邦夫統括作業所長は「みんなの力を結集して悔いの残らない仕事をしよう」と工事関係者に呼び掛け、工程を重ねた。子どもが笑顔で何十年も来られる建築を目指した。安全を確保し、品質・精度の高い施設を作業員とともにつくった」と振り返った。

「須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業」のうち、新水族館を構成する「アクアライブ」、「オルカスタジアム」(イルカ棟)、「ドルフィンスタジアム」(イルカ棟)の設計・施工を担った竹中工務店は、関係企業の先端技術と知見を集め、高品質な施設建設を実現した。外観を印象づけるのはスタジアムの「躍動的」な曲面の大屋根。折板と鉄骨で構成するユニットは形状と高さすべて異なるため、設計段階からBIMを使い、手順を検証した。アクアライブは大小30基以上の展示水槽を配置。水槽用アクリル板や、擬音の設置には漏水防止に細心の注意を払い、作業を進めた。水温・水質など生物ごとに異なる生育環境も最新の水槽設備で実現した。



左から 田中信弥作業所長、浜口邦夫総括作業所長、黒河勝之作業所長

設計コンセプト

計画地は、白砂青松の須磨海岸の地域景観に加え、淡路島・明石海峡大橋を望む広域的景観を併せ持つ海浜公園であり、多様な目的を持つ人々が大勢訪れる場所である。そこで当計画では、優れた景観を生かし、水族館利用者が海浜公園の自然と向き合える場をつくることと、海浜公園利用者と水族館利用者が互いに影響を与え合う関係をつくることを考えた。一般的に水族館は非日常の世界観を構築するため閉鎖的になりがちだが、公的領域である公園を開くことで、自らが過ごす豊かな時間を他者へも広げていく、そんなすがたを目指し、人(利用者)・モノ(水族館)・自然(松林)の関係性に着目した。

海浜公園の自然と向き合える場

①人と人の関係性 これまで、計画地を訪れる人々は、海岸・公園・水族園等それぞれの目的を達するのみで利用者相互の関係性は希薄であったため、動線を並行・立体交差させて人々が互いを認識し、影響を与え合う関係をつくった。②人・モノと自然の関係性 従前施設は、せつかくの優れた立地環境を生かしきれいでなかったため、当計画では半外部空間が連続する建物構成とすることで、外部環境から人や飼育生物を守りつつ、自然の光や風を取り込む中間領域を創出した。人・モノと自然の関係性を再構築することで、生物や自然と向き合える場が生まれ、表情豊かで長く親しまれるまちの象徴となることを意図した。

竹中工務店設計部 梶村健、二宮卓也



オルカスタジアム

工事概要

■事業名称: 須磨海浜水族園・海浜公園再整備事業
■事業主: 神戸須磨Parks+Resorts共同事業体
■設計者: 株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所
■施工者: 株式会社竹中工務店
■施設規模: 総延べ面積23,674.35㎡、RC造・SRC造、一部S造、地上4階建て
アクアライブ/延べ面積8,837.81㎡
ドルフィンスタジアム/延べ面積5,980.01㎡

■工期: 2021年4月1日~2024年5月31日
(他、付属棟3棟)
解体/2021年4月1日~2022年4月30日
アクアライブ/2022年1月5日~2023年7月31日
ドルフィンスタジアム/2022年1月5日~2023年11月30日
オルカスタジアム/2022年1月5日~2024年1月31日

設計・施工

竹中工務店 神戸支店

神戸市中央区磯上通 7-1-8
電話 078(265)3300

電気設備工事

Kinden きんでん 神戸支店
神戸市中央区浜辺通 4-1-1
電話 078(252)0415

空調調和設備・飼育設備工事

SHINRYO 新菱冷熱工業株式会社
大阪支店
大阪市中央区北浜 2-6-18
電話 06(6201)8602

給排水衛生設備工事

三神工業株式会社
神戸市中央区磯辺通 2-1-11
電話 078(231)1234

展示工事

TOTAL MEDIA DEVELOPMENT INSTITUTE CO.,LTD.
株式会社 トータルメディア開発研究所
東京都千代田区紀尾井町 3-23
電話 03(3221)5558

Table listing subcontractors for construction, including companies like 株式会社 乾建設, エポキシ工業 株式会社, etc.

Table listing subcontractors for construction, including companies like 桑路建塗 株式会社, CORE・CUBE, etc.

Table listing subcontractors for construction, including companies like 株式会社 三興, 株式会社 昭和組, etc.

Table listing subcontractors for construction, including companies like 日本サイン 株式会社, 阪神園芸 株式会社, etc.

Table listing subcontractors for construction, including companies like 株式会社 フジタ, 株式会社 松尾工務店, etc.